



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

YOU ARE THE KEY あなたが鍵です

1985~86 R.I 会長 エドワード F カドマン

上田会長 クラブターゲット

仲よく 語ろう ロータリー

第 392 回 例会 61 年 4 月 24 日 第 398 号

出席報告

| 会員数 | 出席数 | 出席率 | 前回の修正 |
|-----|-----|--------|-------|
| 53名 | 38名 | 73.08% | 100% |

欠席者 (14名) 病欠 1名 (種ヶ島)

古郡 古木 橋本 神作 菊地 木村 古田土
熊倉 松崎 三浦 中西 大西 竹本 土屋

本日のプログラム 5 月 1 日

松尾葉子さん (指揮者)

次 週 予 定 5 月 8 日

小武徹郎氏 (大和 R C)
「クラブ創立記念日にあたり」

司会 SAA 伊藤英夫君

ソングリーダー 北砂富三君「奉仕の理想」

《ゲスト》

市川隆一郎氏 (神奈川県立国府実修学校々長)

《ビジター》

近藤謙二君 (横浜瀬谷)

星 幸男君 安藤忠夫君 藤本 孝君
靱山芳久君 川島熊平君 北原敬二君
浜野忠良君 堀内勝正君 佐々木包彰君
三瓶洋爾君 奥岨宏一君 竹中滋治君
堀 一一君 齊藤 勝君 黒田忠男君 (大和)
松尾武彦君 濱畑勝彦君 (大和田園)

《会長報告》

・地区財団委員会より、財団奨学生募集申込にまだ若干日にちの余裕がありますので該当者がい

らしたら至急お申込み下さいとのことです。
・エバンストンからのラブレターの一部ですがロータリアンが 100 万人を突破したということです。又 2 月 17 日~ 23 日の一週間にこの地球上で 75 の新しいロータリークラブが誕生したという報告がございました。
・ちょっと悲しいお知らせですが前原一男さんのご遵父が去る 3 月 26 日にご逝去されました。クラブ内規によりまして御香典をさしあげます。遠隔地でいらしたために大変遅くなってしまい申し訳ございません。
前原君：只今、会長よりお話いただきましたように私の父が去る 3 月 26 日に鹿児島の実家で亡くなりました。今日皆さんより暖かいお心づかいを賜りまして本当にありがとうございました。

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中央 1 - 5 - 4 0
大和 市 商 工 会 館 内
☎ 0 4 6 2 - 6 3 - 7 9 2 6
例会場：大和 市 大 和 南 1 - 4 - 4
八千代信用金庫大和支店 4 階
☎ 0 4 6 2 - 6 4 - 3 6 5 4

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分より
会 長：上 田 利 久
会長レク：藤 田 重 成
副 会 長：富 沢 重 徳
幹 事：近 藤 富 士 男
会報委員：松 崎・種ヶ島・木 村

《幹事報告》

。前原さんのお父様が亡くなりましたので、クラブ内規によりまして一人当たり2,000円の弔慰金の拠金をお願い致します。お帰りに事務局へご納入下さい。

たまたま前原さんご遠慮なさいまして本人からのお申し出がなく、ご実家も遠くていらっしゃいましたので、囲りの方々も気がつかなかったのですが、これからこのようなことはご本人からその都度申告いただきたいと思います。尚、御子息、御令嬢のご結婚等も同じくお願い致します。

《委員会報告》

ゴルフ同好会 委員長 松本三郎君

去る16日の四クラブゴルフコンペご参加ありがとうございました。本日は優勝されました大和クラブの竹中さんがお見えになっておられます。先日お申込みいただきました5月5日の当クラブコンペは、いろいろな事情によりまして一応延期と致します。期日は追ってご連絡致します。

親睦活動委員会 委員長 上村幹雄君

次週、第3回家族会の「すだて」の申込受付を致しますので、御家族の皆様とご相談の上宜しくお願い致します。

《お祝》 おめでとうございます！

| | | |
|---------|-------|-------------|
| 1年皆出勤 | 潘 桂柳君 | |
| | 加藤好秋君 | |
| お誕生日 | 細野順造君 | (4月28日) |
| 御夫人お誕生日 | 金井大輔君 | 晴江夫人(4月24日) |
| | 芦田敬治君 | 静枝夫人(4月28日) |
| | 藤田重成君 | アサ夫人(4月30日) |
| 結婚記念日 | 金井大輔君 | (4月22日) |
| | 加藤好秋君 | (4月25日) |
| | 原田 穆君 | (4月26日) |
| | 猪熊唯夫君 | (4月27日) |

《ゲストスピーカー》 市川隆一郎氏



「非行少年の問題について」

紹介：先生は1933年（昭和8年）東京都にお生まれになりました。1957年横浜市立大学文理学部を卒業され、ずっと児童教育に携っておられまして

現在は神奈川県立国府実修学校の校長先生をしておられます。先生は子供の非行以前の問題の親が親であるべきではないかということに常に云っておられまして、自分の子供だけでも大変なのに沢山の子供達の面倒をみておられ頭の下がる思いです。本日は先生の貴重なお話をお伺いしたいと思います（伊藤）

本日はお招きをいただき本当に有難うございます。私はロータリークラブの会合に初めて出席させていただきました。皆様方の友情あふれるシーンをいくつか見せていただきました。何か男の晴れ姿の一シーンを見たような感じで感銘も受けました。どうか末永くおつきあいいただけたら有難いと思っておりますので宜しくお願い致します。前半は私の仕事のPRを兼ねまして非行問題を皆で考えてみたいと思います。後半は、今自殺の問題、非行の問題、いじめの問題、沢山子供達は心の悩みをかゝえておりますがこれに対して我々大人はどうしたらよいかということについてお話してみたいと思っております。

私の学校は大磯ロングビーチのやゝ山側の方に敷地 46,000坪という。今どこの学校よりもはるかに広大な面積と緑あふるゝ素晴らしい自然環境に恵まれた学校です。そこに定員がたった100名。勿論非行のエリートばかりですから。100×10倍ぐらいはかけていただかなければならないかと思いますが、沢山の問題を抱えた子供達と一緒に生活をしながら教育をしている所です。

大和の市内からも何人かの子供達が児童相談所から送られて、私の手許に来ております。大和の子

供は大変難しい問題を持っております。毎日手こずっておりますが、そうした非行の問題を持つ子供の教育をし、心を直す所が私の学校です。子供の心をなおし教育をする所。これが実修学校の仕事でございます。法律で申しますと戦後出来ました児童福祉法という大変大事な法律です。子供の福祉の憲法といってよいと思います。この法律によってつくられた児童福祉施設の一つでございます。ですから学校という名称はございますが正しくは児童福祉施設の一つでございます。この近くで申しますと、保育園、松風園で昔、孤児院とか乳児院と言われたような施設も仲間です。家庭感

は教育に恵まれない子供達をお授かりし教育をして心の治療をする所が私の施設であり、身心障害児施設であります。その中の一種類でありまして全国に57園あります。最も大きな施設は北海道家庭学校と申しまして、何と私の所の30倍の広大な原野の中に学校が出来ております。都道府県は必ずつくらなければならないという定めになっております。ですからどこの県に行っても私共のような学校はございます。

どういう経過でこのような学校が出来たのだろうかという事をお話すれば、恐らく非行問題の現在の問題に到達することが出来たろうと思いますので私の学校が出来たいきさつについて概略をお話してみたいと思います。

私の学校は今年で満83年になろうとしています。昔は感化院といいました。そして学校の名前も「神奈川県薫育院」といっておりました。こうした名称と歴史を持った児童福祉施設である実修学校でございます。明治の昔も不良少年は沢山おりました。そして大変悲惨な扱いを受けておりました。悪いことをした子供は全く大人と同じ刑罰を受けておりました。牢獄につながれ、中には死刑にもおりました。これが1900年前後の不良少年のおかれた社会的状況であったわけです。戦後巣鴨の拘留所で絞首刑第1号になった者は何と19才の少年でした。アメリカ兵を殺したとかで死刑の判決を受けて絞首台のツユに消えた第1

号が少年であったという事は記憶にとどめて直しいのではないかと思います。戦後も少年といえども犯罪をおかしたとかで死刑にも逢ったということをお憶えておいてほしいと思います。

小松川女子高校生殺し、この少年も児童福祉法が出来たあとで死刑になっています。被害者から見れば憎み余りある少年だったろうと思いますけれども、少年が犯罪をおかしたとかで死刑になっているということ。このことを私達は今、冷静に思い返しながらか子供の処遇について考えてみるいゝチャンスではないかと思います。1900年頃は、大人と全く同じ扱いを受けて牢獄に入れられ死刑にもなっていたのが当時の子供達のおかれた状況です。何と小田原の監獄の中には明治のこの時代、600人の子供達が牢獄につながれていたと言います。当時の先覚者達は牢獄につないで大人と同じように刑罰を課すことは必ずしも子供達を犯罪から立ちなおらすことは出来ない。と考えたようです。今でもそうですが非行少年を刑罰と称して叩いたら彼等は立ち直るでしょうか。私は絶対立ちおらないだろうと思います。刑罰と体罰によって彼等を処遇することは必ずしも非行から立ち直りは出来ない。全く違うものだろうと思います。

子供に必要なのは刑罰でもなく体罰でもなく教育に違いないと考えた先覚者がいました。そこで監獄の中に、ちようじ場というものをつくり、大人と子供をわけて処遇するようになりましたが全国の監獄の中で殆どはちようじ場を設けなかったといわれております。ですから明治の昔は依然として大人と同じように刑罰の対象になっていたのだということは憶えておいてほしいと思います。然し何故、子供達は不良少年になったのでしょうか。日清戦争、日露戦争等大きな内乱、外国との戦争によって一番の被害者は子供だったのです。大勢の子供達が父親を失い、母親からも十分な加護を受けなくて、日本の巷を浮浪して歩いておりました。そして僅かな金で大人からそゝのかされて大きな事件をおこしたりもしていました。こうし

た時代に子供達が非行に走った浮浪に走った大きな原因は家庭にあるというように捕えた人がおります。家庭の愛と教育に不足した子供達だから彼等に必要なのは家庭であり教育であるから家庭に代るものをつくり親と同様の愛情を注いであげよう。そしてきちっと教育してあげようと考えました。何よりも大事なものは社会の中の病的な要素から遠く離して、静かな自然の環境の中で緑の豊かな中で子供の心をつくり変えてあげようと考えました。ですからこの感化院も自然環境の豊かな中で刺激のすくない落ち着いた環境の中で、家族主義という主義に則った教育というものを行ないました。先生方は親に代って愛情を注ぎます。そして心を治すのは単なる学校教育では不足である。必要なのは教育と労働との統合したものを子供達に課して子供の心を落ちつけ、安定させ、人格を育てようと考えました。教育と労働の統合をはかった人物が留岡幸助ということになります。今、神奈川県では非行問題を解消するために何とか自然との触れ合い、人との触れ合いという事を盛んに言っておりますが、明治の昔に留岡幸助はまさに、先生との触れあい、自然との触れ合い、土との触れ合いというものを通して子供の心をつくらう、落ちつけて人格をつくっていかうと考えて実践致しました。

彼の教育の理念は、こんな所にあります。

教育と労働の統合によって大勢の子供達が立ち直っていったことは事実であります。

戦後この留岡幸助の北海道家庭学校の教えを受けた何代か後の人物に藤田俊一というのがおりまして『もう一つの少年記』という本を書いております。これは戦後の出版でございますがもしどこかでお目にかかりましたら是非ご一読をお奨めしたいと思います。私の話よりもそれを読んでみますとよく解ります。何故彼等が非行に至り何度も何度も非行を繰り返すようになったか。その経過がわかります。そして何をもって立ち直って何がきっかけで又、再発をしていくか。というようなことが極めてなまなましく理解されることだろうと

思います。

彼がこの本を出版した当時ハタノイソコという秀れた心理学者が「少年記」という本を書きました。自分の子供の事をテーマにしてすぐれたベストセラーを出しました。藤田俊一は、その向こうをはって、あゝした秀れた豊かな家庭の中で育つ子供もいるけれども、そうでない環境の中で生きている子供達もいますよ。そうした子供の少年記を書いたわけです。何れにせよ当時彼等が考えた非行の原因とその教育法は私は現代でも十分に通じる筈、現代こそ、留岡幸助の考えたような教育論に立って教育をしないということが大事ではないかなと思えてなりません。

私は明治の話をしたのですが、戦後の今、私達は大量の非行少年を抱えて今日まで過ごして参りましたがけれども時代こそ変われ、今の非行少年達も、全く同じ状況におかれているとって宜しいかと思えます。家庭の愛情と家庭の教育に恵まれなかった。そして社会の中でいろいろと毒されていった子供達。そうした子供達はこの大和市街でもずい分と大量いるのではないのでしょうか。彼等の一人と折があったらじっくり逢って話を聞いてみて下さい。なる程、きかん坊で、こにくらしくて恩を仇で返すような子達ですけれどもいったん心が通じ合いますと彼等の悩みが沢山出て参ります。その悩みの原因は先程お話ししましたまさに明治の昔からすこしもかわらない所に行き当たる筈でございます。犯罪、非行というのは、その原点が家庭にある。教育にある。ということは日本であれ、外国であれ、全く同様だろうと思えます。その証拠は戦後、グリップというアメリカの博士が沢山の非行研究をしました。アメリカのスラム街で非行に走った子供とスラム街で非行に走らなかった子供達 500人ずつを選んで調査研究をしました。環境が悪いから子供はすべて悪くなるか？違います。何故彼等が非行に走ったか、それは明治の昔に留岡がつかんだ原因論とすこしも変わらない所に行き当たります。母と子、父と子、この人間関係にこそ大きな原因があるということがわかりました。

これが現代でも通じる非行の原因論であり、そして治療論であろうと思います。

勿論、今は社会も大きく変わりました。それだけではない新しい非行も生まれている事は事実であります。愛情豊かに教育も熱心で豊かな恵まれた家庭環境の中で大勢の子達が非行に走っているということも事実です。これは現代の非行の問題、一つの新しい問題であります。古典的な非行もありますが、現代は又、まさに新しい非行の問題を抱えているということも申しあげておかなければならないだろうと思います。

然し、結論から申せば、どんなに豊かな、教育熱心な環境から非行児が生まれたとしてもその根本の所はやはり母と子、父と子、こうした親子関係の中の愛情のあつれきに非行の根はありますよという事は断言出来るだろうと思います。

こうした子供達を大勢かゝえて私達は今教育しておりますけれども、今言いましたような観点に立って是非、子供達をもう一度見直しをしていただきたいと思います。

たゞ、社会が悪いから、子供が悪いから、学校が悪いから、というだけでは子供は非行に走りません。もっと基本の所に愛情と教育の問題がありますよ、という事を声を大にして強調しておきたいと思います。

非行少年こそ、まさに私達、或は私達社会の犠牲者である。私達が、社会が病んでいるから彼等は病んでいる。そういつて宜しいのではないのでしょうか。非行は彼等の病んだ姿の私達に対する警告であるだろうと思います。

現代のいじめ、現代の少年非行、自殺問題、ノイローゼの問題、こうした子供達の悩みが沢山あります。これはまさに現代の悩みであります。豊かな家庭の中で生じている子供の悩みであります。しかし原因は私は古典的な非行と格においては変わらないと思っています。

私達の生活と私達の住んでいる社会と非行問題というのは、ずい分近い距離にあると思います。といいますのは大和市から私達の学校に送られてき

たある少年の事例でみますと、彼は豊かな家庭で、教育程度も高いエリート階級とってよいような家庭の子でした。お父さんは一流大学を出たエンジニアで、お母さんも豊かな家庭のお嬢さんです。彼は二人兄妹の上の子でした。が彼は4年生頃から家出常習、盗み、シンナーという非行少年に変わっていったのです。エリート階層の家庭から大変な子供が生まれたということです。両親は恵まれた条件の中で一緒になったのですが実はすぐに二人の間には冷たい風が吹くようになったのです。表面は人もうらやむ良い家庭だったのですが二人の仲はしっくりいっていなかったのです。母親はこの子を一生懸命可愛がります。主人が自分のことをふりむいてくれないので代わりに自分の息子をネコかわいがりしました。期待もかけました。息子はお母さんの期待に添う立派な成績をあげるようになりました。然し4年生の時、父親が息子の将来を考えて自分が面倒をみるということになりましたが、子供は父親に反発するようになります。父親の教育にたえられなかったのです。成績が悪いといって叩きました。体罰で成績をあげようとしたのです。然しそれがつらくて家出をしました。いろいろな悪事をおぼえるようになりました。そのうちに母親も心理的にこの子を捨てました。余りにも非行の事実が多すぎたのです。そして妹をかわいがるようになったのです。然しその心の変化は実は小学校4年生からではなくもっと早くからはじまっていたのです。お父さんの代りにかわいがるというその事自体がすでにまちがっており子供が可愛かったのではなく、自分の為に可愛がっていたわけです。ですからこの子は小さい時からお母さんからもお父さんからもたっぷりした愛情をもらえなかった子だったわけです。中学生の今でも断えず人の心を求めようとします。又この子はシンナー常習でもあり、自分でもシンナーをやめたいというので専門書を渡しました処、読んでやめる努力をしたのですがやっぱりダメで、実は少年院に送られ今でも同じような状況にあります。ちょっと辛いと心理的にすぐ逃げる。そして

シンナーを吸うという生活でなおりません。小さな時から心の中では愛を求めて愛が得られなくて今でも心の中でさまよっている子供です。自分をこうしてしまった親が憎いと彼は言います。どうして親達は罰せられないのかと言いました。然し彼が非行に走ることによって彼自身が親を罰していたのだと思います。豊かな社会で教育も熱心で愛情もたっぷりあるか見えながら実は心の中にヒビが入って心がすこしも太っていない子供達、愛情という栄養素をもらっていない子供達がいるということ。これがまさに現代の心の問題であると思います。(豊富な事例をもとに貴重なお話を伺ったのですが録音不能のため、中途半端になってしまいましたことお詫びします。)

《スマイルボックス》 委員長 古川 巖君

近藤謙二君(横浜瀬谷)初めてお邪魔します。

宜しく願い致します。

安藤忠夫君(大和)だいぶ春らしくなって参りました。本日も宜しく願い致します。

星 幸男君(大和)本日も宜しく

藤本 孝君(大和)本日お邪魔します。宜しく

川島熊平君(大和)春らんまんの季節となって参りました。本日は久しぶりにお邪魔致しました。

榎山芳久君(大和)本日はお世話になります。

堀内勝正君(大和)久しぶりに晴れ、陽気も良くなりました。今日はお世話になります。

浜野忠良君(大和)お世話になります。

三瓶洋爾君(大和)お世話になります。どうぞ宜しく。

堀 一一君(大和)毎度お世話になります。

奥嶋宏一君(大和)お世話になります。

竹中滋治君(大和)本日も宜しく願い致します。

北原敬二君(大和)久しぶりにお邪魔致しました。

宜しく。

佐々木包彰君(大和)宜しく願い致します。

黒田忠男君(大和)本日もお世話になります。

松尾武彦君(大和田園)お世話になります。

濱畑勝彦君(大和田園)今日はお世話になります。

伊藤英夫君 本日はお忙しい処、市川先生有難うございます。楽しい卓話を宜しく願い申し上げます。

潘 桂柳君 早いもの。もう1年過ぎました。これからも宜しく願い致します。

加藤好秋君 皆様のお蔭で1年間皆出席出来ました。今後とも皆出席に頑張りたいと思います。有難うございました。

細野順造君 誕生祝、ありがとうございます。

金井大輔君 本日で4回のお祝をしていたゞきます。親睦のロータリー、奉仕のロータリーと苦しみのロータリーにならないように、又自分の中にロータリーを確信出来るよう、次回のお祝には又良い所感が書けるよう頑張っていくます。結婚記念祝、女房の誕生祝、ありがとうございます。

藤田重成君 ①家内の誕生日を祝っていたゞいてありがとうございます。あれもいよいよ還暦かな ②芦田先生、先日は有難うございました。運良くカスリ傷程度で喜こんでいます。

芦田敬治君 家内の誕生日のお祝ありがとうございます。元気でおりますが今後も宜しく願い致します。

猪熊唯夫君 何回めの結婚記念日なのか? 何れにしても祝っていただきありがとうございます。何とかつながっております。

有沢昭二君 市の委員会に出席するため早退させていただきます。申し訳ありません。